

令和5年度
磐田市議会「シティミーティング」
実施報告書



©磐田市

令和5年10月29日開催

実施報告書目次

1	開催概要	1
2	テーマA：お隣さんは外国人～地域で共に暮らしていくためには～	
	(1) 議会からの報告（総務委員会）	2
	(2) 意見交換で出た意見	4
	(3) 市民意見の活用報告（総務委員会）	8
3	テーマB：磐田市に必要な子育て（孫育て）サポートについて	
	(1) 議会からの報告（民生教育委員会）	9
	(2) 意見交換で出た意見	11
	(3) 市民意見の活用報告（民生教育委員会）	16
4	テーマC：まちの賑わいづくりに何が必要だと思いますか	
	(1) 議会からの報告（建設産業委員会）	17
	(2) 意見交換で出た意見	19
	(3) 市民意見の活用報告（建設産業委員会）	24
5	アンケート集計結果	25
6	令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」を振り返って	33
7	参考資料	34

1 開催概要

(1) 開催日時、会場及び参加者数

開催日：令和5年10月29日（日）

開催時間	午前10時から 午前11時30分	午後2時から 午後3時30分	午後5時から 午後6時30分
会場	豊岡中央交流センター 多目的ホール	福田農村環境改善センター 大会議室	総合健康福祉会館 (iプラザ) ふれあい交流室1～3
参加者数	10人	3人	27人
市民ファシリテーターの数	6人	7人	7人

- ・総合健康福祉会館（iプラザ）では、手話通訳、託児を実施

(2) 出席議員

- ・正副議長、広報広聴委員は全会場に出席
- ・行政組織別常任委員会の各委員は1会場に出席

会場	出席議員
豊岡中央交流センター	鈴木喜文 岡 實 高梨俊弘 根津康広 芥川栄人 永田隆幸 鈴木正人 小池和広 秋山勝則 山下千賀子 八木義弘 平田直巳 鈴木弥栄子
福田農村環境改善センター	鈴木喜文 岡 實 高梨俊弘 寺田幹根 芥川栄人 芦川和美 永田隆幸 戸塚邦彦 江塚 学 小栗宏之 山下千賀子 八木義弘 平田直巳 本間昭男 柏木 健
総合健康福祉会館（iプラザ）	鈴木喜文 岡 實 高梨俊弘 松野正比呂 加藤文重 芥川栄人 永田隆幸 小柳貴臣 鳥居節夫 江塚 学 山下千賀子 八木義弘 平田直巳 加藤公人

(3) 次第

区分	内容	時間
開会	・開会 ・議長挨拶 ・進行説明	5分
議会からの報告	行政組織別常任委員会報告（所管事務調査を中心に報告） ・総務委員会 ・民生教育委員会 ・建設産業委員会	20分
意見交換	手法 ワークショップ形式。市民ファシリテーターが進行 意見交換 参加者は、テーマA～Cのうち1つを選び小グループで意見交換を行う テーマ（所管事務調査項目から常任委員会が設定） A：お隣さんは外国人～地域で共に暮らしていくためには～ B：磐田市に必要な子育て（孫育て）サポートについて C：まちの賑わいづくりに何が必要だと思いますか グループごとに発表	60分
閉会	・副議長挨拶 ・閉会	5分

2 テーマA：お隣さんは外国人～地域で共に暮らしていくためには～

(1) 議会からの報告（総務委員会）

～行ってみよう！言ってみよう！～
磐田市議会「シティミーティング」

総務委員会報告

1. 総務委員会について
2. 所管事務調査について
 - (1) ダイバーシティの推進
 - (2) 防災減災
3. 今後の取り組み



令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

総務委員会の報告をいたします。

内容は、「1. 総務委員会について」、「2. 所管事務調査について」、「(1) ダイバーシティの推進 (2) 防災減災、最後に「3. 今後の取り組み」について報告をします。

1. 総務委員会について

総務委員会とは何？

所管

- ・ 総務部
- ・ 企画部
- ・ 自治市民部
- ・ 消防本部
- ・ 危機管理課
- ・ 会計課 など



令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

総務委員会は、総務部、企画部、自治市民部、消防本部、危機管理課、会計課、監査委員、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会及び公平委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項について審査や調査を行っています。

2. 所管事務調査について

- (1) ダイバーシティの推進
 - ✓ 多文化共生
 - ✓ 男女共同参画
 - ✓ 人権啓発 など
- (2) 防災減災
 - ✓ 水害対策
 - ✓ 大地震への備え
 - ✓ 危機管理体制 など



日本語、ポルトガル語、英語の
磐田市洪水ハザードマップ

令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

次に、所管事務調査です。

総務委員会では(1)ダイバーシティの推進と(2)防災減災をテーマにしました。

ダイバーシティの推進 ①

ダイバーシティって何？



多様性。一人ひとりが
尊重される世界、地域。

令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

それでは、総務委員会の所管事務調査の内容について説明します。

今回は、ダイバーシティの推進について説明します。

ダイバーシティとは、「多様性」を意味し、年齢や人種、性別など、さまざまな属性を持った人が集まった状態のことです。

総務委員会では、今後「多文化共生」、「男女共同参画」や「人権啓発」について調査研究を進め、市当局へ政策提言を行っていきます。

ダイバーシティは「多様性」と言うことで範囲が広いため、今回の磐田市議会シティミーティングの意見交換のテーマは、そのうちの「多文化共生」を取り上げました。地域でいかに外国人市民と共生していくか、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくために必要なことなど、皆さんのご意見をお聞かせください。

ました。

ダイバーシティの推進 ②

磐田市の多文化共生の現状と取り組み

磐田市の外国人人口

53カ国 9,354人 (令和5年6月末現在)
※磐田市の総人口 167,078人

- 外国人向け日本語教室
- 外国人児童生徒初期支援教室NIJIでの日本語と生活習慣の初期支援
- 国内外に向けたPR動画発信
- 外国人アンバサダー設置

5 令和5年度 磐田市議会「シティ・マーケティング」

次に、磐田市の多文化共生の現状と取組について説明します。総務委員会は、これまで市、県の担当者を招いて2回にわたりダイバーシティの調査研究を行いました。

磐田市では、近年外国人の定職定住の人口が増え、令和5年6月末現在、53カ国 9,354人の外国人がお住まいです。

人口減少社会において、外国人の定職定住が、益々広がっていくことが推測されます。

そのため、磐田市では令和5年度、多文化共生推進プランの推進に重点をおいて取り組んでいます。市の担当者からは、具体的な取り組みとして①外国人向け日本語教室 ②外国人児童生徒初期支援教室NIJI(にじ)での日本語と生活習慣の初期支援、③多文化共生事業のPRを目的とした国内外に向けた動画の発信、④市の情報を発信拡散し、外国人コミュニティから情報収集を行う、外国人アンバサダー設置について説明を受けました。

また、県の担当者からは、県内の外国人の状況、多文化共生施策等の報告を受け、現状の取り組み、これからの施策などを確認しました。

ダイバーシティの推進 ③

先進地視察『岡山県瀬戸内市・大阪府池田市・兵庫県尼崎市』

- ダイバーシティ推進室の施策や展開
- ダイバーシティセンターの役割と取り組み
- 人権に関する条例制定の経緯と成果
- 市民への意識啓発 など

6 令和5年度 磐田市議会「シティ・マーケティング」

総務委員会では、10月中旬に、岡山県瀬戸内市、大阪府池田市及び兵庫県尼崎市へ先進地視察を行いました。

瀬戸内市では、ダイバーシティ推進室を中心とした施策の実施や展開。池田市では、ダイバーシティセンターの役割と取り組み。尼崎市では、人権に関する推進条例制定の経緯と成果など、ダイバーシティ推進の具体的な取り組みや、市民への意識啓発などを調査し

3. 今後の取り組み

ダイバーシティの推進・防災減災についての調査研究を進めまとめていきます。

委員会として政策提言

たくさんの元氣と笑顔があふれるまち磐田

7 令和5年度 磐田市議会「シティ・マーケティング」

今後の取り組みについてですが、総務委員会では、引き続き「ダイバーシティの推進」、「防災減災」の2つのテーマについて調査研究を進めていきます。

そのうち、防災減災については、昨今の異常気象が原因の水害が、各地域で発生しています。

また、予想されている南海トラフの巨大地震への備えや危機管理の対策強化についても検討が必要と考えています。

最後に、総務委員会では「たくさんの元氣と笑顔があふれるまち磐田」にむけて、今後も引き続きダイバーシティ推進と防災減災について調査研究し、委員会として市当局へ政策提言をしていきます。



以上で総務委員会の報告を終わります。

(2) 意見交換で出た意見（内容は記入されたままで表記）

豊岡中央交流センター会場

分類	内容
分かち合い	<ul style="list-style-type: none"> ○日本人と外国人 理解し合う 文化・習慣 ○もしもお話できるようになったら地域のおすすめスポットを紹介したい。 ○食べることを通じて仲良くなれるかなー。 ○外国人も参加できるようなレクリエーションをきかくする ○積極的に<u>一緒</u>に行事に参加する ○外国人の文化を知る機会をもうけることが必要。 ○もしも仲良くなれそうなら外国語を教えてもらう
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつできるよう心掛ける ○コミュニケーションをどのようにとるかが課題 ○とりあえず笑顔であいさつをする ○気軽に話しあえる環境。言葉の問題をどうする。 ○日本人と外国人 まずは近所づき合いから ○日本人と外国人 言葉の壁 本訳アプリの活用 ○地域に住んでいる人が外国人にも分かるように言語では無く<u>ピクトグラム</u>などを使用する ○外国人の子供とどう仲良くなるのか。 ○日本人と外国人 子どもの頃からの遊びから
地域で暮らすルール	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人 自治会（地域づくり）に参加 ○自治会のルールをどう知らせわかってもらうのか。 ○外国人の方が日本で暮らすうえで困っていることを知る。 ○日本で定住するために必要なことを知ってもらう。 ○困ることがないか質問する（ex） ゴミ出しなど

福田農村環境改善センター会場

分類	内容
幼児・義務教育 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・保育園の通訳さんの人数を増やす ○幼児 保護者支援 ○通訳について タブレットだけでなく人も必要 ○公立小中で学ぶ外国人児童生徒の支援 ○放課後児童クラブでの外国籍児童への学習支援
キャリア 	<ul style="list-style-type: none"> ○高校進学について 外国人保護者への情報提供 ○ブラジル人学校の子どもたちのキャリア支援。定時制の外国人生徒も・・・
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人に情報を届けるには？地域の人がつながる ○子どもさんたちの交流を通して大人の交流を ○★オリエンテーション 御厨地区歴史めぐりオーキング ○地域住民としてお祭りに参加 ○身じかなスポーツを通して（モルック、ポッチャ） ○命を守る防災訓練でコミュニケーション ○草刈りやゴミ当番に協力してもらう <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 20px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ○お国自慢の料理でコミュニケーション ○外国のことについて学ぶ機会を作る（言葉・料理等） ○「食」を通して交流する </div>
意識	<ul style="list-style-type: none"> ○「違い」があたりまえだとう思いを持つ ○日本人の外国人に対する抵抗感、偏見、現状、どうしたら？

総合健康福祉会館（iプラザ）会場

分類	内容
文化の理解・交流 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">文化</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○その国の料理を地区のイベントで作ってもらい コミュニティ向上 ○必ず多国籍になるようなチーム対抗スポーツ大会を実施 ○お国自慢の料理でコミュニケーション ○多文化交流 ○わたしたちも積極的にその国の文化にふれる ○多文化理解 ○外国人と日本の文化の違いを知る。尊重
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生活</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○生活オリエンテーション ○その方がどんな思いを持っているか共有する（可能な範囲で） ○ルール（マナー）を知ってもらい、理解を得る ○御厨駅の周辺の歴史をオリエンテーション ○ゴミの分別が難しいのでは？
行政	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ外国人に長く住んでもらう工夫を ○その方が困ったときに相談できるようにする（行政、地域） ○日本国籍が取得しやすいようにする。 ○困った時の相談窓口（できれば近所で）
地域 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">お祭り</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">}</div> <ul style="list-style-type: none"> ○自治会役員に外国人もなってもらいサポートする ○草刈りやどぶ掃除をいっしょにやる。 ○自治会のまつりに参加してもらい。一緒に行く。 ○行事（祭典）に参加してもらい </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">防災減災</div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 5px;">}</div> <ul style="list-style-type: none"> ○天災時の助け合い事前対策 ○防災訓練への参加促進 ○命を守る防災訓練をいっしょに行う </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人の地域参画 ○自治会役員に外国人もなってもらいサポートする ○草刈りやどぶ掃除をいっしょにやる。 ○自治会のまつりに参加してもらい。一緒に行く。 ○行事（祭典）に参加してもらい ○天災時の助け合い事前対策 ○防災訓練への参加促進 ○命を守る防災訓練をいっしょに行う
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の行事を活用して家族みんなのおつきあい ○ブラジル学校への支援 ○外国籍の子供への学習支援充実 ○開かれたブラジル学校 ○多文化子育て ○外国人の子育て世代への支援（技・人・国） ○子どもがいるなら子ども会に参加してもらい
ことば	<ul style="list-style-type: none"> ○道路標しきにふりがナを入れる ○言葉の壁をのりこえる（アプリ 通訳 etc） ○言葉の不自由にならないように。自治会も掲示物はその国のものを。 ○中学校区くらいで地域日本語教室を開催し、顔の見える関係づくり ○回覧板にルビふり&やさしい日本語 ○やさしい日本語の普及 ○自治会単位くらいで日本語教室を行なう。

	<ul style="list-style-type: none"> ○看板はすべて多言語にする。 ○自治会文書の翻訳、やさしい日本語 ○防災無線を多言語にする
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○企業毎にサークルをつくり、定期的に交流する。 ○ママ友、おやじ会みたいな気軽に参加できるイベントを。 ○子ども（未就学）が集まれる遊べる場所を紹介する（マップ）

(3) 市民意見の活用報告（総務委員会）

意見交換のテーマ お隣さんは外国人～地域で共に暮らしていくためには～

1 参考になった意見

- 地域で共に暮らしていくためには、お互いの文化や生活の違いを理解し、交流することが先ずは大切。
- まずは顔の見える関係、あいさつから
- 地域で暮らすルールを共有することが大切
- やさしい日本語を使う
- 相手を理解することが大切

2 今後の活用について

- 委員会としては、今後予定している「ダイバーシティ推進に関する提言書」に入れるべき意見を取り入れていく
- その他、委員会メンバーが各議員として、今後の活動に活かしていく
- 広報広聴委員会として、これまで行ってきたように、この結果を当局に報告し、各施策に活かしていく

3 市民意見に対する全体の感想

- 「知る・理解する・意識を醸成する」ために、行政や関係団体だけではなく、市民一人ひとりが多文化共生を受け入れていく土壌づくりが大切である。
- そのためには、ダイバーシティ推進室を先頭にした、仕組みづくりや更なる仕掛けづくりも必要である。多文化共生は一気に進むことはなく、地道な取り組みが重要である。

3 テーマB：磐田市に必要な子育て（孫育て）サポートについて


(1) 議会からの報告（民生教育委員会）

～行ってみよう！言ってみよう！～
磐田市議会「シティミーティング」

民生教育委員会報告

民生教育委員会所管
福祉・医療・教育・子育て等の分野
※健康福祉部・こども部・教育委員会・市立総合病院が所管です。

【所管事務調査】
1. 子育て支援について
2. 障がい福祉について
3. 学校における課外活動について



令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

まず、子育て支援について、先進地行政視察として京都市交流促進まちづくりプラザを視察しました。京都市交流促進まちづくりプラザは、京都市西京区の阪急京都線・洛西口駅付近の高架下空間を利用した施設で、子育て応援施設と市民の交流スペースが作られています。

その中の子育て応援施設である「ガタゴト」は、遊びを通して子ども同士が関わり、コミュニケーションの楽しさを感じることが出来る、親子のための遊び場です。「プレイリーダー」が常駐し、興味や成長に応じた暮らしに役立つ遊びを提案しています。京都市内でもファミリー世帯が比較的多く居住しており、利用者の大半が徒歩や自転車で来館していることから、近隣住民の利用が多いと推測されます。本市においても大いに参考にすべき工夫だと感じました。

民生教育委員会の報告をいたします。

民生教育委員会は、福祉、医療、教育、子育てなど、幅広い分野を所管しており、健康福祉部、こども部、教育委員会、市立総合病院が所管となります。

委員会では、所管事務調査として「1 子育て支援について」「2 障がい福祉について」「3 学校における課外活動について」の3つをテーマとし、取り組んでいます。今回はそのうちの「1 子育て支援について」「2 障がい福祉について」を報告します。

1. 子育て支援について ①

磐田市における政策推進のための5つの柱の中に、「子どもたちの安心」があります。

① 所管事務調査
・ 子育て支援について

② 市の取り組み状況
・ 市内11か所の子育て支援センター

③ 先進地行政視察
京都市西京区
交流促進まちづくりプラザ
「ガタゴト」



令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

磐田市は「安心できるまち・人が集まる磐田市」を基本目標としており、政策推進のための5つの柱の中に、磐田市で子育てをしたいと思ってもらえる「子どもたちの安心」があります。民生教育委員会では「子どもたちをど真ん中においてその笑顔を広げること」を進めるため『子育て支援について』を【所管事務調査】としました。

磐田市内には、11か所の子育て支援センターがありますが、偏在し、数も十分でない」との声もあります。センターへは自家用車での利用者も多く、多少遠方でも、幹線道路沿いにある施設や、駐車場の広い施設を選ぶ方もあり、今後の子育て支援センターの在り方についても、調査研究を継続していきたいと考えています

1. 子育て支援について ②

① 市の取り組み状況
・ 磐田版ネウボラ（iぼーと）
磐田市では母子健康手帳交付時から継続した寄り添い型支援（通称 iぼーと）が昨年より始まる

② 先進地行政視察
大阪府大東市
「大東版ネウボラ」事業
「ネウボランドだいとう」



令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

次に、磐田市では母子健康手帳交付時から継続した寄り添い型支援（通称 iぼーと）が昨年より始まっています。「iぼーと」では、子育て家庭の経済的支援とともに、妊娠、出産、子育てに関して、伴走型で相談支援を行う取組として、中学校区を基本に配置された地区担当保健師による、乳児家庭全戸訪問が実施されています。

そこで、先進地行政視察として、大阪府大東市が平成30年度から実施している、「大東版ネウボラ事業」を視察しました。

「大東版ネウボラ」は、母子健康、子育て支援、学校教育の連携を中心としたものです。「ネウボランドだいとう」は妊娠に気づいた時から、お子さんが18歳になる頃までの子育てを応援・サポートする子育ての総合相談窓口で、3つの異なる部や課が相互に連携をし、支援していました。本市においても必要な伴走型支援体制の取り組みであると再確認しました。

以上で「子育て支援について」の報告を終わります。

この後の意見交換では、磐田市の子育て（孫育て）に関するみなさんのご意見をお聞かせください。

2. 障がい福祉について

磐田市における政策推進のための5つの柱の中に、「暮らしと健康の安心」があります。

- ①所管事務調査
・障がい福祉について
- ②市の取り組み状況
・障がい者地域活動支援センター
・障がい者就労相談窓口
- ③先進地行政視察
岡山県総社市
障がい者千五百人雇用事業



令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」

次に、磐田市における政策推進のための5つの柱の中に、「暮らしと健康の安心」があります。民生教育委員会ではこの「暮らしと健康の安心」を進めるため誰一人取り残さない支援体制を推進するため『障がい福祉について』を【所管事務調査】としました。

磐田市には、障がい者地域活動支援センターと障がい者就労相談窓口があり、障がいを持つ方の生活や就業について数々の相談を受けています。

障がいのある方であっても生きがいを感じ幸福に生活出来るまちは、だれにとっても住みやすいまちだと思います。そこで、民生教育委員会では「障がい福祉について」調査研究するため、先進地行政視察として「総社市障がい者千五百人雇用事業」を視察しました。

「総社市障がい者千五百人雇用事業」は岡山県総社市における事業で、「障がいのある方の一生に責任を持ちます」との市長のリーダーシップから始まった事業であり、開始後6年で障がい者雇用1,000人を達成し、現在障がい者1,500人の雇用に挑戦しています。

障がい者雇用では、法律で義務が課せられていない従業員43.5人以下の中小企業における雇用の課題で、総社市においては、市長による企業トップに対するトップセールスの効果が大であったとのこと。障がい者雇用に対するハードルが高くても、特に中小企業においては企業トップの理解があれば雇用の可能性は高まると感じました。

民生教育委員会はだれにとっても住みやすいまちを作るためにこれからも調査研究を継続していきます。

以上で民生教育委員会の報告を終わります。

(2) 意見交換で出た意見（内容は記入されたままで表記）

豊岡中央交流センター会場

分類	内容
	○昔は社会が子供を育ててくれていた。
多様性	<p>○全ての人が安心して自信を持って自由にその人が生かされる社会へと人権を大切に多様化していきましょう</p> <p>○子どもが自由の権利を守るというCAPワークショップがあるのですが、自分を大切にすることと人を大切にすることにもつながり子どもにかかわる大人もいかにかかわることが大切かも学びます。子どもの時に学べる事で社会として子育てにつながって*のでCAPワークを全ての***たい</p> <p>○未来へ不の遺産を残さないことが人を大切に自然を大切にすパーマカルチャーということも市民全員で学んでいきたい</p>
みんながあつまれる	<p>○緑のある公園がほしい</p> <p>○児童館がほしい</p> <p>○親の交流の場がほしい</p> <p>○子どもの病気のときの受入れ施設</p>
実効のある支援	<p>○現金支給</p> <p>○教育費の負担軽減経済支援</p>
課題	○せんでんがたりない支援センター
安心安全	<p>○不登校児のきめ細かな対応 親へのサポート</p> <p>○安心して通学できる・ルートの検討・サポート者の確保・統廃合の可否</p>
	○住宅が建てやすい土地利用

福田農村環境改善センター会場

分類	内容
○子どもを産みたい	
相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ファミリーサポートの充実 ○子育て支援が多岐にわたって見えにくいからサポートもしにくいのでは ○少しおやすみ出来る環境 ○子育て支援の偏在はどういう考えとの行き違いから生じているのか ○気軽に相談できる場所機会の創出 ○いつでもだれかに相談できる体制や仕組みの充実 ○相談出来る場所 ○助けて 助けるよ 言えるまち
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ○ヤングケアラーを見つけだそうとせずに楽しむ仲間をどう用意できるか？ ○子育てと福祉の連携充実 ○安定した生育環境を外国から来た人に用意できるか？ ○障がい者の生活環境は充分だろうか？支援Bでのメディカルの不足がみられた
昔みたいなよさ！ あったらいいなあ～	<ul style="list-style-type: none"> ○行政は情報提供を積極的に ○「GATAGOTO」(京都市西京区)に常駐しているプレイヤーを(磐田にも・・・) ○中高生と小幼児とのふれあいの機会を増やす ○三世代家族への支援(優遇) ○地域で子育て見守りができる居場所づくり ○子ども預り施設への補助の充実

総合健康福祉会館（iプラザ）会場①

分類	内容
サポート	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校児童が大きく増えている。小学 孫が不登校にならないか心配。磐田市は他市を上回る ○不登校の子ども達も多いと聞きます。空地で作物や花を育て居場所作りをしたい。 ○ファミリーサポートの充実 ○困っている人がいたら助けたい ○企業にも父親の育児支援のはたらきかけをしてほしい ○サポート（産後）は上の子の面倒も見てほしい ○産後のママたちが困っているのは食事作りが多いので、サポートの中に食事作りも入れて！ ○一時預りの施設が少ない
情報発進	<ul style="list-style-type: none"> ○発進してほしい ○市民講座を月に1回は、やってほしい。 ○まどぐち ○孫たちがスマホゲーム中毒ぎみで心配！学校はどう指導してる
産後ケアハードル下げて	<ul style="list-style-type: none"> ○母子手帳の項目を見直す ○産後ケアの充実 4回→7回にしてほしい（訪問と日帰り） ○産後ケア申せいはiプラザだけでなく支所、LINEでもできるように SNSを利用 ○妊娠8か月の訪問は保健師だけでなく助産師も活用してほしい ○育児（病児）保育の充実をお願いしたい
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ○磐田は子供の医療費が無料ですばらしいと他市からの声
要望	<ul style="list-style-type: none"> ○全天候型施設が少ない。 ○にこっとが休日（月）が休み（休日月はやってほしい） ○そこで育てたものから子どもたちと子ども食堂を運営できれば。

総合健康福祉会館（iプラザ）会場②

分類	内容
学童 緊急一時あずかりはできないか？	<ul style="list-style-type: none"> ○学童保育の充実 ○学童保育の時間延長してもらいたい ○預け先（急に）仕事してなくても ○学級閉鎖になった時の子供の居場所があると良い
学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ○教育の改革「会社で働く子を育てる」から「自分から創造できる子」へ ○教室に入れない子の居場所 ○支援が必要な子どもが増えた ○小中一貫校について（幼稚園の説明）（進め方にギモン） ○スクールバス登下校の安全性
子供の居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○磐田でやっている自然塾は桶ヶ谷沼自然塾だけ ○子どもたちを外に連れ出す工夫は？ ○安心して遊べる場所の整備（公園など） ○市民文化会館跡地に子どもの施設を
支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭でできる支援は？ ○子育て支援等の施策の広報拡大 ○少しでも早く支援が必要な事が発見できないか ○片親家族への支援の充実
子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ○支援センター支援員が子どもをあまりみない 昼食食べれない 所多い ○支援センターの利用しやすさ 子供への対応 ○1日を通して利用できない
	<ul style="list-style-type: none"> ○1～3年を1人でいさせることが虐待か？登下校はどうか？

総合健康福祉会館（iプラザ）会場③

分類	内容
親の働き方	<ul style="list-style-type: none"> ○職場と子ども園と家庭の関係 ミスマッチ ○女性の仕事復きへの方法の多様性 ○企業の働き方の多様性
学生	<ul style="list-style-type: none"> ○学生たちがつながる支援 ○他市町に通う子他市町から来る子の支援 ○駅周辺（御厨も）学生がいられる場所があったら・・・
行政	<ul style="list-style-type: none"> ○主任児童委員をやっているもやりがい・活動が活かされていない。 ○マンパワーが足りないなら、地域とつながって支援を ○保健師さん人数たりの？（全戸訪問で対応できる？） ○地域（自治会）に子育て支援の大切さを理解してもらう苦労 ○現金支給必要です
子供の居場所	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども版包括支援センターとケアマネ（iぽーと）？ ○包括支援センターの中に障がい児、外国人もいっしょに ○地域の中での子育て環境 ○親子の居場所（各地域に） ○昔は社会が子育てをしてくれていた。現在は？ ○児童館（18才まで）の設置 ○うさぎ山の保存 ○児童館 小学校世代あそぶところほしい ○児童館に変わる場所（子どもたちの居場所） ○豊岡東小、子の宿泊施設として充実させてほしい
保育	<ul style="list-style-type: none"> ○年少時 保育園ホントには入れる？転園 ○保育園 年少学年入るの厳しすぎ ○通園時に集中した場所を確保する。そこへ園が迎えに来る ○一時預りもっと増やしてほしい
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路、わからん（自治会が入ってない） ○学区が広すぎる ○学府一体校と不登校の子どもたちへの支援・心配 ○学童 放課ごデイサービスとどうちがう？ ○学童システムよくわかんない ○小中学校のトイレ改修を願う（心の健康のため） ○給食費無償化

(3) 市民意見の活用報告（民生教育委員会）

意見交換のテーマ 磐田市に必要な子育て(孫育て)サポートについて

1 参考になった意見

- 子どもの居場所として、小学生世代が遊べる児童館やそれに変わる場所が欲しい。
- 一時預かりができる場所をもっと増やして欲しい。
- 全天候型（外で遊べない天候）での遊び場が欲しい。
- 保育園に入るのに、厳しい（なかなか入れない）。
- 学級閉鎖時や子供が病気・病後の時に仕事が休めない。子供を預ける場所が欲しい。
- 産後ケアの充実を更に拡充して欲しい
- にこっと・子育て支援センター等の休日の見直し
- 通学路の安全性やスクールバス等の再検討をお願いしたい。
- 磐田市は、医療費が高校生年代まで無料化され他市町の方から評判が良い。

2 今後の活用について

- 現状調査(当局・市民ヒヤリング、現地調査、関係者へのアンケート実施)
- 課題の優先順位整理・所管事務調査の中で検討
- 羅針盤での周知(検討内容、結果)・各年代との意見交換

3 市民意見に対する全体の感想

- 今後の所管事務調査の参考意見となった。(ワークショップ形式の取り入れも含めて)
- 実態調査を含め、内容を深める作業・議論が委員会に求められていると感じる。

4 テーマC：まちの賑わいづくりに何が重要だと思いますか

(1) 議会からの報告（建設産業委員会）



建設産業委員会の報告をいたします。

建設産業委員会は、経済産業部、建設部、環境水道部及び農業委員会の所管に属する事項で、産業振興、企業立地、雇用促進、経済観光、農林水産振興、都市計画、都市整備、道路河川、建築住宅、環境、ごみ対策、上下水道などを担当しています。

委員会では、今年度所管事務調査として、「1. 産業振興による中心市街地の活性化について」と「2. カーボンニュートラルについて」の2つのテーマに取り組んでおります。今回、その2点について報告をします。



初めに、1点目の「産業振興による中心市街地の活性化について」ですが、磐田市が秘めている各種産業の高いポテンシャルを引き出し、中心市街地やその周辺地域に蓄積されている、歴史的・文化的資源の既存ストックを最大限に有効活用して、地域の創意工夫をいかしながら、地域が必要とする事業等を総合的、一体的に推進することにより、各種産業の振興を図り、中心市街地活性化に結び付ける政策を議会として示していきます。初めに、1点目の「産業振興による中心市街地の活性化について」ですが磐田市が秘めている各種産業の高いポテンシャルを引き出し、中心市街地やその周辺地域に蓄積されている、歴史的・文化的資源の既存ストックを最大限に有効活用して、地域の創意工夫をいかしながら、地域が必要と

する事業等を総合的、一体的に推進することにより、各種産業の振興を図り、中心市街地活性化に結び付ける政策を議会として示していきます。

磐田市の取り組み状況ですが、毎年産業振興フェアを開催し積極的な企業誘致を行い産業振興に努めています。その外、おせっかい事業・起業家支援・サテライトオフィスなどの取り組みを進めています。中心市街地では、軽トラ市など各種イベントへの支援をはじめ、空き家対策にも取り組み、商業による市街地の活性化に取り組んでいます。

委員会では、市街地の活性化を先進的・積極的に取り組んでいる全国の市町の事例を参考に調査研究を行い、官と民が一体となって市街地の活性化を図ると共に産業の振興を図り、まちの賑わいと雇用の創出を生み出し、まちの活性化に結び付ける策をまとめ、提案していきたいと考えています。

今日の意見交換では、まちの賑わいづくりについてみなさんのご意見をお聞かせください。



次に、2点目の「カーボンニュートラルについて」ですが、カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを指します。地球温暖化に起因する温室効果ガスを抑制し、自然災害の軽減を図るためにも、排出量実質ゼロを目指す必要があります。これは、人類に課せられた課題であります。次世代が安心して暮らせる環境を整えることが現代人の使命であり、その為には一人ひとりが、ゼロカーボンを理解し、常に環境を意識して行動する必要があります。磐田市の取り組み状況ですが、磐田市では、令和3年6月にゼロカーボンシティを表明し、環境省が策定したエコアクション21を基に、第2次磐田市地球温暖化対策実行計画を策定し、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量化及びリサイクルの推進、環境に配慮した物品の購入等について、目標と計画の達成期間を定め、職員一丸となって環境問題に取り組んでいます。具体的な取り組みとして、・食品ロス削減キャンペーン・アース・キッズ事業・いわた COOL CHOICE DAY・エコドライブ・緑化推進などで温室効果ガスの排出量の削減に取り組んでいます。

委員会では、2050年の脱炭素社会の実現を目指す為、全国の市町の取り組みや先進企業の事例を調査・研究してまいります。

地球温暖化対策により、近年多発している自然災害の発生を減らす取り組みが必要とされていますので、自らの生活様式や社会経済活動の在り方を見つめ直し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築していく必要があると考えます。

そのために、建設産業委員会では、市民の皆さんや市内事業者が一体となって脱炭素社会に向けて取り組んで行けるように、研修会等を行いながら調査・研究・協議を進め、市に政策や支援等について提案していきたいと考えています。

以上で建設産業委員会の報告を終わります。

(2) 意見交換で出た意見（内容は記入されたままで表記）

豊岡中央交流センター会場①

分類	内容
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が地域の活動に参加しない人が比較的多いように思う ○コロナでイベントなど少なくなったので、又、少しずつふっ活していてもらいたい ○婚活事業 ○明るく地域に若い人と高令者が交流する場を作る イベント
環境	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道が草でおおわれて歩きづらい所がある。 ○空き家を貸し出す事業をすすめる→人を増やす
施設	<ul style="list-style-type: none"> ○中央交流センターに支所機能を持たせる
交通	<ul style="list-style-type: none"> ○だれもが生活に困らない交通機関（暮らしの足の充実）

豊岡中央交流センター会場②

分類	内容
ひとの集り	<ul style="list-style-type: none"> ○賑わいづくりは自分の地域を知る事が大事 ○地域の人々の共通の気持ちが大切 ○人が集まる定住人口の増 移住者の宅地（空家）の提供を！！ ○それぞれの年代の参加（地域） ○イベントでない人の交流の場の開催 ○人が集まる関係人口の増 地域や地域の人と多様に係る人材を確保（人手不足） ○人が集まる交流人口の増 イベントの開催と国道沿いに道の駅を設置する（観光） ○元気な人でなくても参加できる小単位（自治会）開催する企画を ○高齢者の買物支援が必要
地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の資源の何を賑わいにするか ○農業体験 ○耕作放棄地の活用 ○竹林の増加 ○空き家の活用 ○自然や歴史跡を生かしたウォーキングを定期的に行う ○竹の活用（竹炭） ○竹の活用（メンマ作り） ○山の活用 ○遊歩道で継ぐ（整備） ○国道沿いに道の駅をつくる（観光）
	<ul style="list-style-type: none"> ○磐田の良さを発信する情報発信施設（よさを）（産業・文化歴史）

福田農村環境改善センター会場

分類	内容
	地域の資源を知ること
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ○新しいワークシェアリング ○鉄道運転手が居酒屋の店長 ○若者女性が働きたいと思う企業の誘致
食	<ul style="list-style-type: none"> ○未来の農業 ○農地政策はまったなし ○えびいも関東進出（えびいもを関東に売り込む。食べ方、コロツケなど） ○飲食店 飲み屋さん
住	<ul style="list-style-type: none"> ○駅前のお考え方の転換期 ○駅前を居住地に ○交通機関の充実 ○だれもが困らない交通機関（暮らしの足の充実） ○磐田市実証実験化計画（自動運転ライドシェアなど実証実験を市内で行えるようにする） ○植物工場団地をつくる（磐田サービスエリア付近） ○空家対策の現実 ○高齢者が家を借りられない ○旧市民文化会館の使い方の決定と実行 ○多様な年代の参加 ○貧富の差の拡大による住宅事情の変化
憩	<ul style="list-style-type: none"> ○車を置いて歩いて回れるように ○市民が集まれる場所 憩いの場 ○歴史回廊 ○学生の居場所作り ○行きたいナと思う魅力のある場所を作る ○ウォーキングできる場所 ○子育てママが集える場所 ○自然の活用 ○“かたりあ”グリーン化計画（かたりあの電気を再生可能エネルギーでまかなう） ○かたりあの平日の活用 ○新しい広報の形を深る 特長ある

総合健康福祉会館（iプラザ）会場①

分類	内容
若いパパ・ママの活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ○観光をアピールする。情報誌、テレビ等 ○福田港を使用してパパ、ママ、キッズのフィッシングスクールを開催 ○多くの人が楽しめるスポーツを ○人が集まって楽しむ場所が必要
企画発信	<ul style="list-style-type: none"> ○町のイベントをたくさん実施する ○市営グラウンドをもっと有効活用できない→月に1回キッズサッカーじゅく・ラグビーじゅく高校野球児のキッズスクールを定期開催 ○東京ガールズコレクションシズオカのティーンズガールズコレクションを開催 ○市外から人を呼ぶことができる物があれば ○お袋の味食堂をつくろう ○お店を作る ○自転車によるラリー・レースの開催 ○多様な行事を企画する ○軒店をしよう1人タタミ1枚分のスペースでお店を定期開催 ○若いパパとママと子供のファミリーが食事・ショッピングをする場所がない。ララポートのみなのでアピタを有効活用できないか
対話	<ul style="list-style-type: none"> ○にぎわいのイメージを共有するとことから始める ○子ども、青年、大人、高齢者会議みたいのを作る ○話し合いのできる場をたくさん作る ○商工会議所、ラ・ラポートとの情報交換をする。磐田を盛り上げる
交通を便利に	<ul style="list-style-type: none"> ○ライドシェアをすすめたい！
空家を活用	<ul style="list-style-type: none"> ○空家を活かすアイデアコンテストをする ○空き家の活用 空き家を上手に活用して人が集まるようにする ○空き家の有効活用を考える
人をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ○人とのつながりを大切にする まずは隣人と ○まず私が隣近所を知る
やさしい病院	<ul style="list-style-type: none"> ○磐田市立病院へいらないコミック、小説を寄付してもらう
農業を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ○農業の担い手をふやすためにグリーンツーリズム ○「麦」育て方を子供達に教える 終了後（モチつき 流しソーメン）

総合健康福祉会館（iプラザ）会場②

分類	内容
	○市の中心をどうとらえるか
場所	<ul style="list-style-type: none"> ○旧豊岡東小の活用（少年自然の家） ○多世代で活用できる施設 ○「行ってみたいな」と思える魅力のある場所をつくる ○地域のお宝をまず知って活用 ○JR3駅あるので駅ごとに特長あるお店があったらいいナ！！ ○多くの人が集まる多目的施設 ○磐田駅から見付までの通りに子供が集まれる場所をつくる ○子供中心の町づくりをどう考えるか ○あき家を整備して子供達が集まれる場所をつくる（児童館） ○かたりあの活用 ○年齢層が集まれる場所 ○いろいろな店舗の設置 ○学習できる場をつくってやる 学生が集まる
交通	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが生活にこまらない交通機関の確保（暮らしの足の充実） ○高齢者移動時の足 ○無人自動車（ヤマハ） ○竜洋海洋公園無料バス 土日だけなのでこまった ○御厨駅からうさぎ山公園へのつながり
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントの充実 ○人とのつながりを多くする ○海の活かしたいのでサーフィン、釣り、ボート、砂のアートなどのイベントで海岸線の利用する。ブラジル人にも印象は良い ○ららポート周辺での参加の多いフェスなど個人的にはフード系を年四回季節性に合わせて実施してみる ○磐田駅から見付までの通りに防災をかねた公園をつくる ○若者との共存 祭り、自治会活動
人	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者問題→安心して頼れる人 ○ちょっとした家事の手伝いができる関係づくり
産業	○若者・女性に人気のある企業の誘致
★まちづくりのためには対象をしぼる 多世代交流も必要	

総合健康福祉会館（iプラザ）会場③

分類	内容
街づくりのハード	<ul style="list-style-type: none"> ○年100万人集う 市の核・顔となる多世代が集える居場所を駅前に作る ○磐田市が駅前や東名 I C の周辺整備に力を入れること ○核となる居場所から磐田市全体を I T でつなげる仕組づくり ○磐田市が街のにぎわいに必要な駐車場の確保を重視すること ○磐田市が商業振興にもっと力を入れること。（民間の力を活用して） ○イベントを気軽に開催できる様になると良い ○高校生食堂や高校生が運営するカフェがあるといいかな ○各地域の特色を生かしたまちづくりを行なう ○ジュビロード（歩道活して）屋台市なんかどうか※北口広場ではやっている
世代別対策	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代が便利な居場所集まる場所（支援・楽しみ・教育・生活） ○赤ちゃん・幼児・低学生高学年・中・高生・大学の居場所、学びの場 ○年寄りがいこえる喫茶店・食事できる店があるといいですね ○若者支援（少子化対策）→需要増 ○磐田市が高齢者施策にもっと力を入れ街に出かけるシニア層を増やすこと
健康対策	<ul style="list-style-type: none"> ○事前医療対策。健常者増やす
歴史と観光・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・観光の拠点を国分寺前西庁舎に置き磐田市全体につなげる（I T） ○スポーツの施設はたくさんありますが文化的な博物館、美術館がほしいです
デマンドの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○デマンドの広域化
広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○公共セクターの効率化。税金減らす。
議会に若者視点	<ul style="list-style-type: none"> ○議会の活性化→本*的・建設的

(3) 市民意見の活用報告（建設産業委員会）

意見交換のテーマ まちの賑わいづくりに何が必要だと思いますか

1 参考になった意見

- 「食」・「仕事」・「住」・「憩い」に分類されたが、全てについて地域の資源を知ることによりまちの賑わいづくりに繋がる。そのためには磐田の良さを知る情報発信施設が必要。
- 磐田駅前のお考え方の転換期
- 市民の皆様のお地域の歴史や魅力を知り大切にすることが大事である。
- 各世代間の交流が賑わいづくりに通じていく。
- 産業、観光等の関係機関の情報交流と発信
- イベントでない人の交流の場の開催
- 新しいワークシェアリング
- 農業の担い手を増やす（グリーンツーリズム）
- 空き家を活かすアイデアコンテスト
- 市内の中心部に憩いの場が欲しい。
- 駅前の活性化と空き家対策が必要。
- 農地の不便さと利活用を求める。

2 今後の活用について

- 磐田市を自動運転実証実験の場所へと導くとともに、公共交通機関の充実を委員会で検討する。
- 磐田駅前の活性化が急務と考え、旧磐田市民文化会館の有効活用も視野に委員会で検討する。
- 継続的なイベントの開催で、人の交流をうむ活動を委員会で検討する。
- 歴史等の地域に根差しているものを地域の方々が知りその題材を基に世代間で交流し情報の発信に努める。
- デマンドの更なる拡充に努める。
- 今後も困っている方を少しでもサポートできるようにしていく。

3 市民意見に対する全体の感想

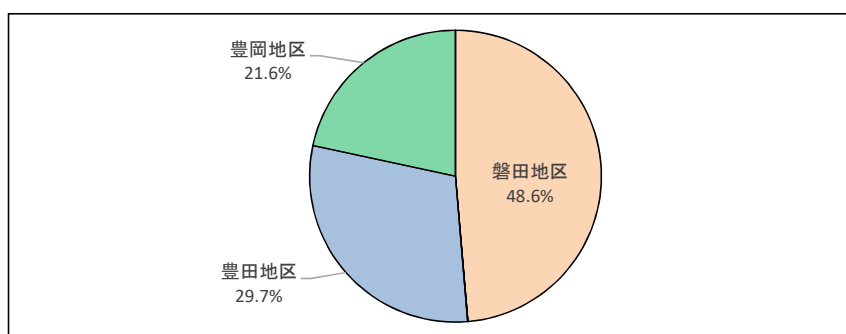
- 磐田駅前の活性化が望まれている。
- 空き家対策に対する意見が多く、今後の対策で、まちの賑わいが生まれると思われる。
- 憩いの場所を求める意見が多かった（学生・子育てママなど）。
- あらゆる年代の人たちが、居場所を求めていることが分かった。
- よりこうしたら良くなるのではという前向きな意見が多かった。

5 アンケート集計結果

※参加総数40人のうち、37人の方に御回答いただきました。
 ※記述欄は記入されたままで表記しています。

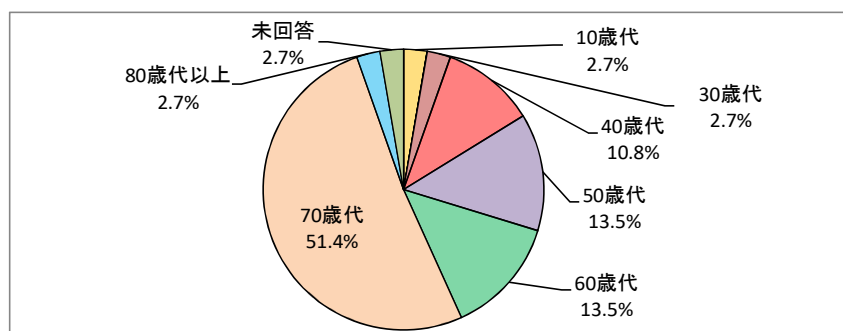
問1 お住まいの地区

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
磐田地区	1	3	14	18
福田地区	0	0	0	0
竜洋地区	0	0	0	0
豊田地区	1	0	10	11
豊岡地区	8	0	0	8
未回答	0	0	0	0
計	10	3	24	37



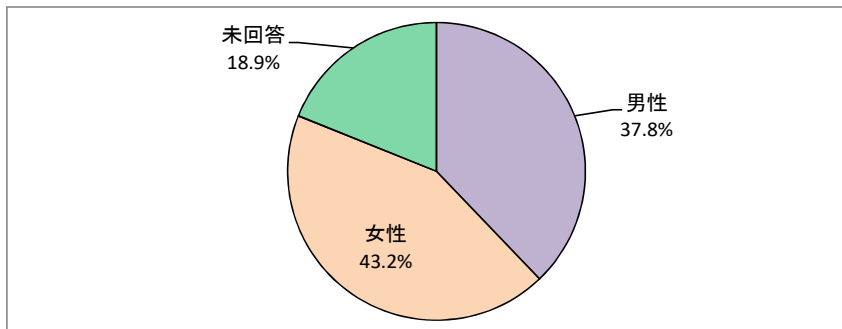
問2 年齢

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
10歳代	1	0	0	1
20歳代	0	0	0	0
30歳代	0	0	1	1
40歳代	0	1	3	4
50歳代	0	1	4	5
60歳代	1	1	3	5
70歳代	7	0	12	19
80歳代以上	1	0	0	1
未回答	0	0	1	1
計	10	3	24	37



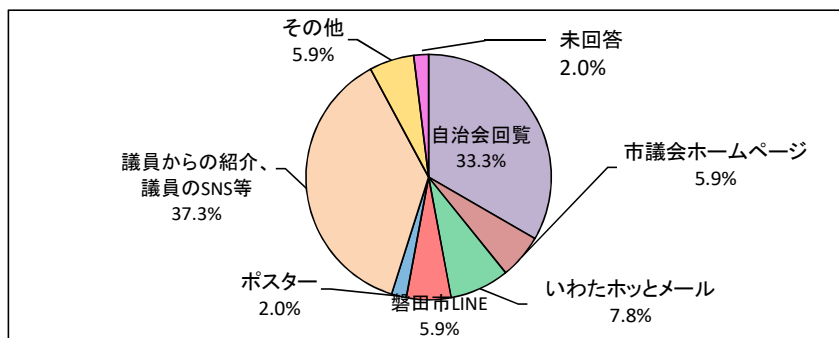
問3 性別

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
男性	1	0	13	14
女性	4	3	9	16
未回答	5	0	2	7
計	10	3	24	37



問4 「シティミーティング」を知った方法（複数回答）

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
自治会回覧	7	0	10	17
市議会ホームページ	0	0	3	3
いわたホットメール	0	1	3	4
磐田市LINE	1	0	2	3
ポスター	0	0	1	1
議員からの紹介、議員のSNS等	4	1	14	19
その他	1	1	1	3
未回答	1	0	0	1
計	14	3	34	51

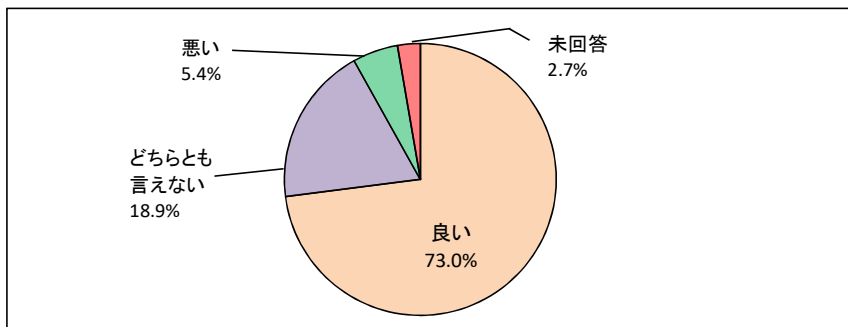


その他の意見（記述）
親に教えてもらった
多文化交流センターにチラシを持ってきていただいたので
多機能防災i-TABOのライングループ

問5 「シティミーティング」の取組

(1) 開催日時

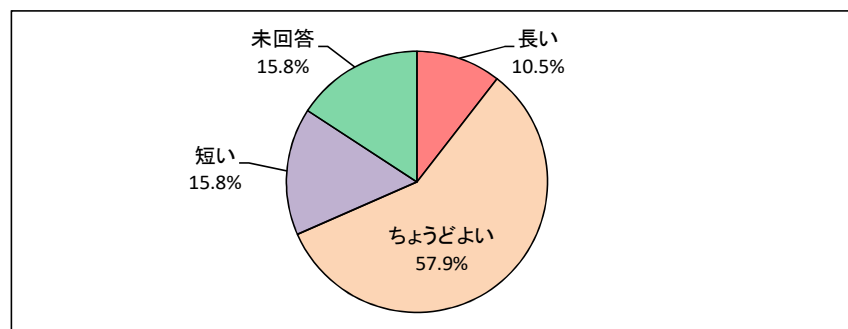
分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
良い	7	3	17	27
どちらとも言えない	2	0	5	7
悪い	0	0	2	2
未回答	1	0	0	1
計	10	3	24	37



希望時期 (記述)
同日に3時間帯の設定がありましたが、仕事の関係でここしか選べず・・・ お忙しいと思いますが平日休日選べたらいいと思います (夏までなら子どもたちも参加できるので)
平日 18時から
他の日も開催してほしい
17時代は良くないです

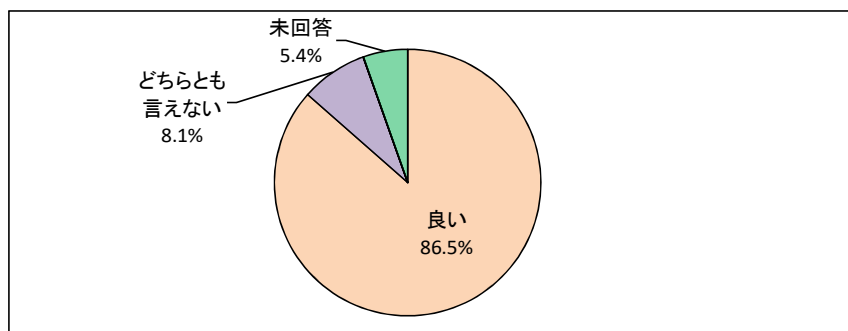
(2) 全体の時間

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
長い	0	1	3	4
ちょうどよい	8	3	11	22
短い	0	0	6	6
未回答	2	0	4	6
計	10	4	24	38



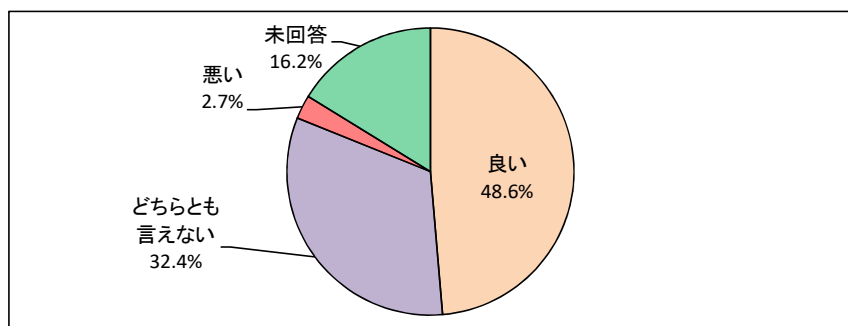
(3) 開催場所

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
良い	10	1	21	32
どちらとも言えない	0	1	2	3
悪い	0	0	0	0
未回答	0	1	1	2
計	10	3	24	37



(4) 議会からの報告について

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
良い	6	2	10	18
どちらとも言えない	2	0	10	12
悪い	0	0	1	1
未回答	2	1	3	6
計	10	3	24	37

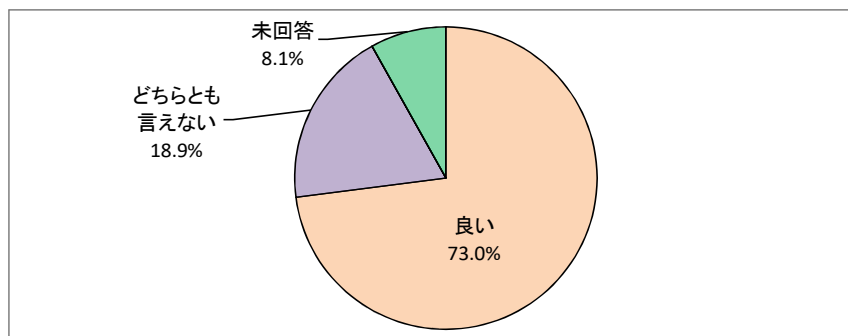


希望 (記述)
資料の手もとの見る所、ページを教えて下さればもっとよかったと思う
視察例 (情報) をもっと知りたいという気持ちになりました。勉強になりました。
今回はそういうコンセプトだったかと思いますが、もう少し具体が見えた方がいいなと思いました。
視察報告をもっと詳しく聞きたかった (特に参考になった点について)
もう少しくわしく
発表の練習が足りない

(5) 意見交換について

①テーマ

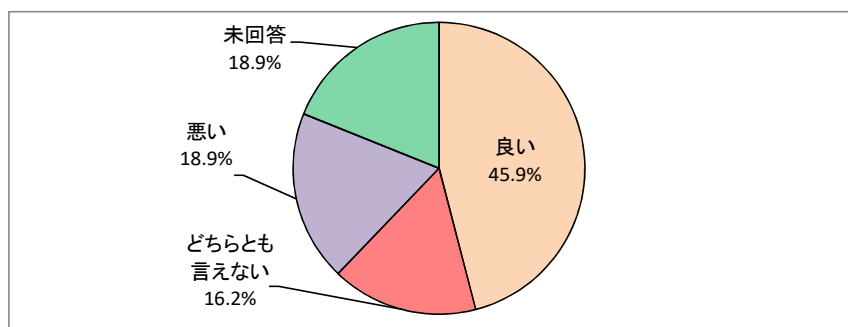
分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
良い	6	3	18	27
どちらとも言えない	2	0	5	7
悪い	0	0	0	0
未回答	2	0	1	3
計	10	3	24	37



具体的に (記述)
もっと多く参加しやすいよう
試みとしては良かったが話す時間が短すぎた。ちょっとものたりない。
ちょっと時間が・・・

②進め方

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
良い	6	3	8	17
どちらとも言えない	1	0	5	6
悪い	0	0	7	7
未回答	3	0	4	7
計	10	3	24	37



具体的に (記述)
中央ファシリの話が長すぎ。今日の会はみんな意見交換したくてきているので残念。グループでの意見交換もファシリと意見交換だけ。できれば同じグループの方ともっと話をしたかったです。
進行の話が長い、コンパクトに。
ファシリテーターの方の話も長くて・・・ 議会報告から時間が押していて、せっかくの意見交換の期間が短くなって残念でした。
効率的に進めていただきたい。 もっと意見交換時間を増やしてほしい。

タイムテーブルがあっても合っていなかった。
意見を出す時間が少なすぎた。

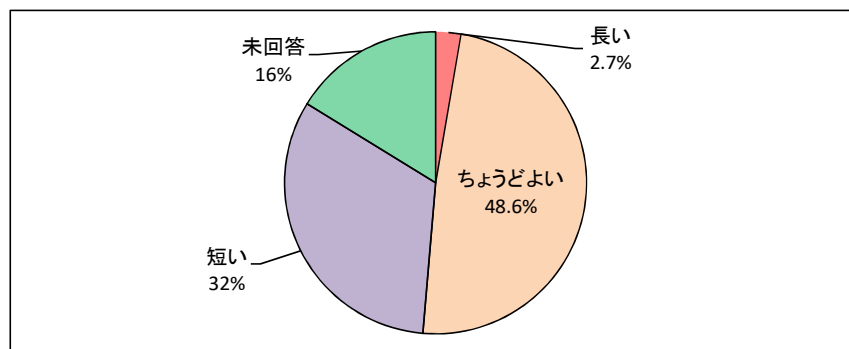
ファシリテーターの説明が長かった。自分の感想は必要ナシ

説明の時間が長すぎ、意見交換の時間が短すぎた

全体ファシリテーターの時間が長い

③時間

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
長い	0	0	1	1
ちょうどよい	7	2	9	18
短い	0	1	11	12
未回答	3	0	3	6
計	10	3	24	37



具体的に（記述）

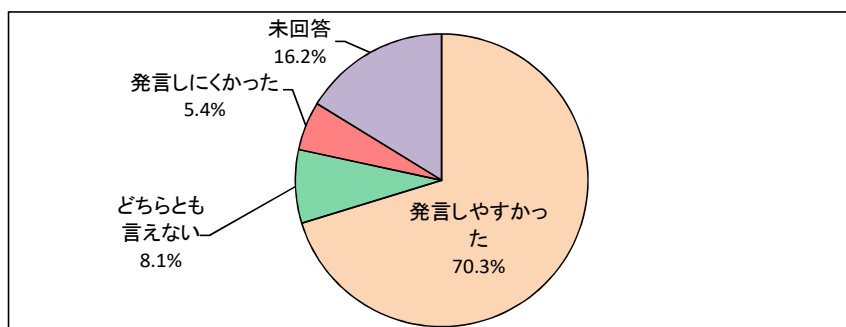
もう少し踏み込んで話せるとよかったですでしょうか・・・

短時間すぎてまとまらない

あとは時間配分かなと思います。1時間30分は適切です。

④発言のしやすさ

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
発言しやすかった	5	3	18	26
どちらとも言えない	1	0	2	3
発言しにくかった	0	0	2	2
未回答	4	0	2	6
計	10	3	24	37



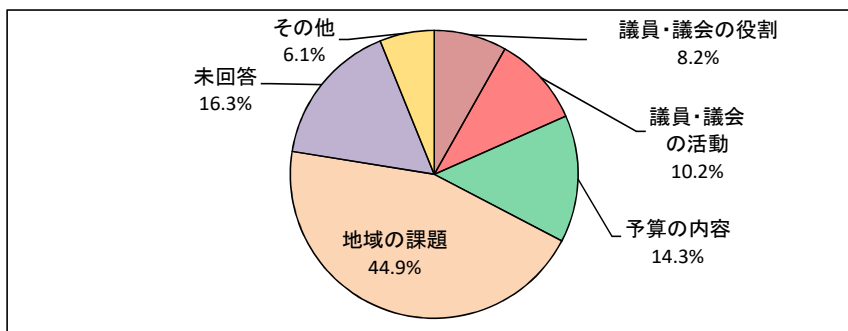
具体的に（記述）

時間が短すぎた

発言する時間がなかった。ゆっくり話をしたら間に合わないと感じた。

問6 今後テーマにしてほしいこと（複数回答）

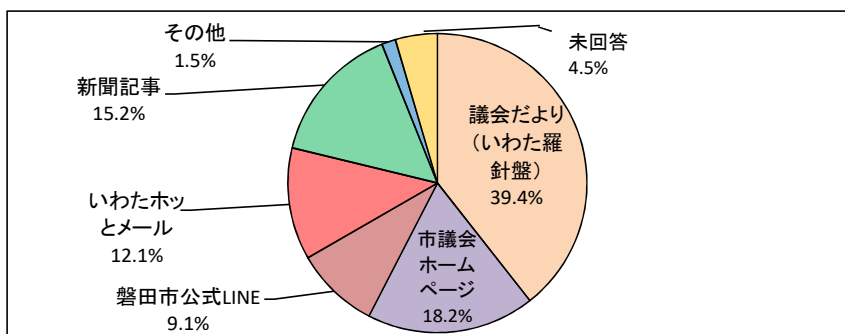
分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
議員・議会の役割	2	1	1	4
議員・議会の活動	0	0	5	5
予算の内容	1	0	6	7
地域の課題	4	2	16	22
未回答	3	0	5	8
その他	1	0	2	3
計	11	3	35	49



その他の内容
防災・防犯
市民の声の届け方（請願、陳情、意見書の出し方など）
磐田市の方向性・やろうとしている事
植込みの草取り、剪定してもそれだけで終わっている。車道側、植込みの間は残っている。予算を使って市民がやってくれたんだと思える予算の配分を。

問7 市議会の活動について、情報を得る手段（複数回答）

分類	豊岡中央 交流センター	福田農村環境 改善センター	総合健康福祉会館 (iプラザ)	計
議会だより（いわた羅針盤）	6	3	17	26
市議会ホームページ	1	2	9	12
磐田市公式LINE	0	0	6	6
いわたホットメール	1	1	6	8
新聞記事	1	1	8	10
その他	0	0	1	1
未回答	3	0	0	3
計	12	7	47	66



その他の意見（記述）
市議の方からの報告会

問8 「シティミーティング」の内容や市議会に対するご質問、ご意見

意見（記述）
事前の広報について、運用内容を事前に知らせてほしい
参加者をもう少し増やす広報が必要と思います。（議会報告会よい） 中学生の参加が良かった。（まちづくりへの参画） 若い世代への呼びかけを（子育て世代）
今回、地元の方の参加が少なく残念でした 本当は、地元の方の思いを聞きたくて参加しました（福田は外国人増なので・・・） 広報にもっと協力できたらよかったです・・・ 他会場の意見も聞いてみたいです 設問とちがう記述ですみません!!
シティミーティングのチラシがちょっとカタいかな-と思いました。 広報の方法をもう少しラフにしたり、（インスタグラムの活用など） 気楽に参加できる雰囲気にしたりとすると、参加者が集まりやすいかなと思います。議員の方はスーツじゃない方がいいような・・・。 他のイベントと合同開催にして、人が集まる場で開くなどしてもいいかも。
議会だよりは、市民の人が読んでいるのか 市政に興味を持ってもらうこと、とても大切なので、例えば、議会で話したことが紙になるまで時間がかかりすぎて 全て、事後報告になっている。ここは仕方がないが、もう少し早く議会だよりを欲しい。
もう少しお話を聞けたらより良かった。議員さんのお話を聞く時間が短くて残念。
磐田市の市政に関心のない人達をどうとり込んでいくか どのように成り立っているのか今後の磐田市についてもっとくわしく知りたいです また情報交換も行ってほしいです
若い方々の意見新鮮でした。こういう機会が重要です。
議会報告での視察について、過去の視察についてどう反映できたのか説明があると良い 今回の意見について受けとめ及び反映に期待しています 子育てなら磐田、子どもをど真ん中に、を実現していきましょう！
各グループにファシリテーターがいるのであれば、全体で合わせて進める必要はないかと思いました。 メインの話合いにしっかりと時間をとっていただけたらと思います。 グループ活動にわかれる前に具体例を言った方がよい方向に行く場合もありますが“どんなことでも言って”というテーマであれば暗にこういう方向でというのが伝わってしまうので投げてもらっちゃった方がいいと思いました。 ミーティングという試みは非常によかったと思うので若い方も増やしながら続けていただけたらと思います。 ありがとうございます。 教室に入れない子が帰されてしまうとの話がありました。事実かどうかは分かりませんが受け入れてあげたいけど対応する人がいないというのは切実な課題です。
子育て世代への支援がまだまだ足りていないことを重く受けとめていただきたいと思いました。 報告会1時間半でできるようにタイムキーピングしてもらいたい。
投票率の向上を討議する場を作りたい。時に若い人を交えて高い投票率の中で選ばれた市議であることを誇りに思えるようになることを期待しています。 この意見は今年の議会報告会（オンライン）のアンケートで具申しましたが無視されました。
本日の意見を市議会で取り上げていただきたい。出しっ放しにせず、議員さんで話し合い提案していただきたい。 行政へお願いしたいことを出す場をいただきたい。

6 令和5年度 磐田市議会「シティミーティング」を振り返って

令和5年度の磐田市議会「シティミーティング」は、“議会を身近にするアクションと広聴活動”を主眼に進めてきました。

個々の議員は、市民と接しご意見やご要望を聞く機会がありますが、市民の代表機関である議会として、広く市民のお話を伺う手段はそう多くありません。

そこで、議会をもっと身近にし、地域課題や政策・制度への関心を広げ、市民との接点を広げるプランを企画検討しました。また、伺ったご意見やご要望は、議会から市行政への政策提言や提案に生かしていくことを意識しました。

今回の磐田市議会「シティミーティング」での新たな取組は

- ①市民が参加しやすい名称への変更。「議会報告会」を「シティミーティング」に
- ②テーマ設定し、ワークショップ形式による意見交換
- ③市民ファシリテーターの協力による意見交換の進行
- ④議会報告のパワーポイント利用

今回の磐田市議会「シティミーティング」を振り返り、今後の課題と検討事項は

- ①市民への広報活動の充実
- ②開催日程（時間等）の検討
- ③参加者の対象を絞る（テーマ設定等）の検討

今後も“市民の声を聴く”活動を大切にして市民との接点を広げる活動を進めます。



7 参考資料
 (1) チラシ

～行ってみよう！言ってみよう！～

磐田市議会 「シティミーティング」

磐田市の課題を一緒に話し合ってみませんか。
 どなたでも参加できます。皆さんのご意見をお聞かせください。

開催日 令和5年10月29日(日)

時間	会場	内容
午前10時00分 ～ 午前11時30分	豊岡中央交流センター (巻貫地 76-5)	1 議会からの報告 ・総務委員会 ・民生教育委員会 ・建設産業委員会 2 ワークショップ形式の意見交換 ※意見交換のテーマA～Cの中から1つ選んでいただき、小グループで意見交換をします。
午後2時00分 ～ 午後3時30分	福田農村環境改善センター (南島 391-1)	
午後5時00分 ～ 午後6時30分	総合健康福祉会館(iプラザ) (国府台 57-7)	


意見交換のテーマ


A：お隣さんは外国人～地域で共に暮らしていくためには～

B：磐田市に必要な子育て(孫育て)サポートについて

C：まちの賑わいづくりに何が必要だと思いますか

託児(就学前児童。各会場10名まで)、手話通訳、要約筆記の実施を予定しています。
 希望される方は、10月11日(水)までに議会事務局へ電話(0538-37-4822)または右記のQRコードからお申し込みください。





主催 磐田市議会 問い合わせ 議会事務局
 電話 (0538) 37-4822 ファックス (0538) 37-4845
 メールアドレス gikai@city.iwata.lg.jp

○時間 長い ちょうどよい 短い

※「悪い」を選んだ方は、具体的に記入ください。

()

○発言のしやすさ 発言しやすかった どちらとも言えない
 発言しにくかった

※「発言しにくかった」を選んだ方は、具体的に記入ください。

()

■今後の議会報告会でテーマにしてほしいこと(複数回答可)

議会・議員の役割 議会・議員の活動 予算の内容 地域の課題
 その他

(内容:)

■市議会の活動について、情報を得る手段(複数回答可)

議会だより(いわた羅針盤) 市議会ホームページ
 磐田市LINE公式アカウント メール配信サービス「いわたホットメール」
 新聞記事
 その他

(内容:)

**■議会報告会の内容や市議会に対してご質問、ご意見がございましたら、ご記入ください。
「議会だより(いわた羅針盤)」についてもご意見がございましたら、ご記入ください。**

ご意見等への個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

いただいたご質問、ご意見とアンケート結果については、議会ホームページと議会だよりに掲載する予定です。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度

磐田市議会「シティミーティング」実施報告書

編集：広報広聴委員会

委員長	永田	隆幸
副委員長	平田	直巳
委員	高梨	俊弘
	芥川	栄人
	江塚	学
	山下	千賀子
	八木	義弘